

県立大学フェスタ2009

7月19日(日)、本学にて「県立大学フェスタ2009」を開催しました。

県立大学フェスタとは、ステージ発表、展示・体験コーナーなどのプログラムを通して、学生の自主活動やサークル活動を間近で見られる県立大学のイベントで、今年で2回目を迎えました。今年はオープンキャンパスと同時開催となり、高校生・保護者の方を中心とした、およそ700名の方が訪れました。

厚生棟前広場では音楽系サークルなどのステージ発表が行われました。お天気が心配されましたが、開演時間に合わせるように太陽が顔を出し、少し暑いくらいの日差しの中、吹奏楽団BLAZEの演奏でステージが始まりました。手話サークルによる手話歌では、一緒に手話に挑戦する高校生の姿も見られました。最後は奄美連合萩組による元気いっぴいのよさこいが観る人を圧倒しました。ステージ前は、学生食堂に昼食と休憩に訪れた人を巻き込んで、大変賑わいました。

また、体育館ではパネル展示などで、学生によるさまざまな自主活動の紹介が行われました。身近なエコについて考えるワークショップやプチ韓国語講座など親しみやすい内容の活動紹介も多く、高校生たちが見入っていました。

その他の会場では茶道部によるお点前体験、タンデムの試乗などの体験コーナーが人気を集め、フェスタを通して大学生と訪れた人の距離も縮まったようです。エコチャリのテント前では、大学生と高校生がすっかり打ち解け、明るい笑い声が絶えませんでした。ピアサポートによる相談コーナーでは、訪れた高校生が大学生活についてさまざまな質問をする姿が見られました。

県立大学フェスタ2009を通じて、普段見ることが出来ない学生の自主活動を、より多くの人に知っていただくことが出来ました。



BLAZEの演奏で、一気にフェスタのムードに。会場を盛り上げました。



厚生棟前は、丁度昼食に訪れた人も巻き込んで、大賑わいでした。



厚生棟和室では、茶道部のお点前体験が行われました。



エコアクション21学生委員会のブースでは、水の飲み比べなどのエコワークショップを行いました。



時々強い日差しが降り注ぎ、暑いくらいでしたが、お天気に恵まれ無事開催出来ました。



災害ボランティアは活動紹介と蒸しパンの炊き出しをして、来場者に試食してもらいました。



手話サークルは流れるような手の動きがきれいでした。



TFTは先進国と発展途上国の「食」の問題を考える取組の紹介をしました。



ヴァーチャル韓国生活と題して、韓国と日本の文化の違いを紹介しました。



タンデムは高校生を乗せて、D館前広場を周遊していました。



ピアサポートによる相談コーナーも高校生に人気でした。



お弁当の日のブースでは、活動の紹介とともに、学生による手作りのお弁当の写真も展示しました。